

令和3年度通学路における合同点検の実施について

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由（状況・内容等）	学校が希望する対策	点検結果概要	対策実施者と対策実施機関
1	旭南小学校	秋田中央警察署	茨島交差点の地下道「あきたバラロード」	登校時間帯に、自転車に乗車したまま通過する人が見られ、非常に危険である。	交通指導員等の呼びかけ、ならびにパトロールを強化する。	現地点検なし（昨年度点検のため）	
2	豊岩中学校	秋田中央警察署	豊岩小・中学校前の歩道が自転車通行可になっていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・車道の幅が狭い箇所や見通しの悪い箇所がある。特に夜間は危険。 ・登下校時にはバスが通るため、自転車で車道を通行するのは危険である。 ・学区が広いため、ほとんどの生徒が自転車通学をしている。 	従来から歩道を自転車で通学してきたこともあるので、歩道を自転車通行可としていたきたい。	歩道を自転車通行可にする基準は原則3m以上だが例外規定があり1.5m以上あれば、自転車通行可にはできる。ただし、当該箇所は、小学生の通学路にもなっているため、歩行している児童と自転車の生徒による事故も起こりうる。そのため、夏休み明けに通学状況を確認したところ、児童と自転車が混在する状況を確認。	・交通安全教育（市教育委員会）
3	泉中学校	秋田中央警察署	泉北二丁目3サーパス泉前の直線道路	交通量が多いにもかかわらず、歩道と車道の区別がない。	路側帯に白線を引いてほしい。	新国道への抜け道となっているほか、バス路線となっていることから交通量が多い。東西のルートであるため、なるべくここを通らず通学するよう指導はできるが、近くにスーパーがあり部活動の帰り等に通行する生徒は多い。	・外側線の設置を検討（市道路維持課）
4	港北小学校	秋田臨港警察署	秋田臨海鉄道下相染踏切脇の側溝	踏切近くの道路脇に深さが1mくらいの側溝があり、転落防止のフェンスやガードがない。	転落防止の対策をお願いします。	道路側溝について蓋があるが、踏切構内については、深さ1M位の水路となっており、過去に児童が転落したことがある。北部市民サービスセンターが注意喚起と転落防止のためバリケードを設置している。踏切構内が危険箇所のため、JRとの交渉が必要である。	市道側に侵入防止策を設置する。（市道路維持課） JRとの協議（市教育委員会）

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由（状況・内容等）	学校が希望する対策	点検結果概要	対策実施者と対策実施機関
5	下新城小学校	秋田臨港警察署	市道中野笠岡線と横山金足線の交差点から下新城交流センターへぬける道路	児童生徒の登校時間帯に、飯島方面から下新城交流センター方向へスピードを出した車が進入する。	通学時間帯の進入禁止	毎朝見守り隊の方が立っているが、児童が登校する7:00~7:30頃に、飯島方面から国道7号線に抜ける近道として、スピードを出した車両が侵入することである。 下新城交流センターに抜ける道は、規制が困難な交差点内にあるほか、規制には、地域住民の合意形成も必要である。 当該箇所から、7号線に抜ける道は、歩道も狭く、踏切付近も狭い。一方、南側の交差点から、7号線に直線で抜ける道については、交通量が多いが、踏切内も含めて歩道が整備されているため、通学路の変更が望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育（市教育委員会） 交通安全指導（秋田臨港警察署） 通学路の変更協議（市教育委員会）
6	飯島南小学校	秋田臨港警察署	飯島1丁目と将軍野堰越の境（飯島堰越第二街区公園がある十字路）	公園側に歩道があるが、住宅地で車両が通るため、横断が危険である。	横断歩道の設置。車両の一時停止線、止まれの標識の設置。	に、右側にブロック塀があるため、車両の死角になりやすい。そのため、カーブミラーが設置されている。 横断歩道の設置については、たまり場がなく困難であるほか、優先道路側を一時停止にすることも困難である。近隣空家のブロック塀が傾いてきているほか、樹木が道路にはみ出ている。 ブロック塀の安全性が担保されれば、草刈りをし、ブロック塀脇を通過し、見通しの良い場所で横断するのが望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策担当課、地域保全所管課との連絡調整（市教育委員会） 交通安全教育（市教育委員会） 交通安全指導（秋田臨港警察署） 通学路路面表示の検討（市交通政策課）
7	外旭川中学校	秋田臨港警察署	県道土崎港秋田線の梶ノ目バス停から石塚自動車までの道	笹岡入口から梶ノ目バス停までのガードレールは付け替えていただいたが、梶ノ目バス停から石塚自動車まではガードレールが錆びていて白くない。	ガードレールを塗り替えてほしい。	毎年少しずつ、ガードパイプを交換しているが、ガードパイプが錆びている箇所がある。 錆びて変色しているが、ガードパイプの破損等は見られない。	ガードパイプの塗り直し又は交換（市道路維持課）

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由（状況・内容等）	学校が希望する対策	点検結果概要	対策実施者と対策実施機関
8	将軍野中学校	秋田臨港警察署	将軍野中学校正門前	見通しの悪い交差点	カーブミラーの設置	学校正面通路は道幅が狭く、正面脇に校門があり、学校の出入り業者や教職員の車両が、学校の外に出ようとするときに、左右が見えにくい。	・カーブミラーの設置（市教育委員会）
9	将軍野中学校	秋田臨港警察署	秋田市将軍野南一丁目14-80	火力住宅前から高清水公園に出るT字路で、新国道側から来る車が見えづらい	カーブミラーの設置	学校側の道路からT字路を左折する方向には、歩道や隅切りがあることや、右折の方向は視界が良いことからカーブミラー設置の要件に該当しない。	・交通安全教育（市教育委員会） ・交通安全指導（秋田臨港警察署）
10	将軍野中学校	秋田臨港警察署	秋田中央高校ラグビー場脇から将軍野中学校へ向かう信号のない横断歩道	横断歩道を利用する生徒が多いが、一時停止しない車両が多い	押しボタン信号の設置	小・中・高校生の通学が多く交通量も多いため、毎朝見守り隊が立っているが、横断歩道で止まらないドライバーが多い。 南側に信号機があり、信号機からの距離が近い。	・交通量調査、信号機移設の検討（秋田臨港警察署）
11	将軍野中学校	秋田臨港警察署	寺内旧国道（感恩講から高清水公園入り口まで）	路側帯はあるが交通量が多いため危険である	ガードレールの設置	道幅が狭く、ガードレールの設置は困難である。交通危険箇所との認識が共有化されており、カーブミラーが至るところに設置されているほか、路側線もきれいに塗られている。	・交通安全教育（市教育委員会） ・交通安全指導（秋田臨港警察署）
12	広面小学校	秋田東警察署	東部市民サービスセンターから岩見一船岡線側へ出る丁字路	サービスセンター側から岩見一船岡線側へ緩い下り坂になっている。また、サービスセンター側の道路が広いため一時停止しないで飛び出す人や車両がある。	一時停止の標識を設置してほしい。また、道路に「とまれ」の文字と停止線を引いてほしい。	東部市民サービスセンター整備事業に伴い東部市民サービスセンターへのアクセス道路を拡張した関係で、優先道路である岩見一船岡線よりも部分的に広がっている。 そのため、センター側から児童が飛び出し車両に接触する事案も発生している。	・停止線設置の検討（秋田東警察署） ・交通安全指導（秋田東警察署） ・交通安全教育（市教育委員会） ・外側線の塗り直し（市道路維持課）
13	広面小学校	秋田東警察署	広面小南信号機から三吉神社駐車場に入ってくる道路	その部分だけ急に歩道が途切れている。また、道幅が狭くなっている。	歩道等を設置してほしい。	三吉神社駐車場の手前までは、広い歩道が整備されており、縁石もあるが、岩見一船岡線側の歩道は狭く一人がやっと通れる広さである。	・用地交渉をし、拡幅の検討（市道路建設課） ・狭窄ポール等設置の検討（市道路建設課） ・ゾーン30表示の塗り替え検討（秋田東警察署） ・交通安全指導（秋田東警察署）

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由（状況・内容等）	学校が希望する対策	点検結果概要	対策実施者と対策実施機関
14	河辺小学校	秋田東警察署	河辺和田字北条ヶ崎地内の仕出し料理喜楽の前の交差点	交通量が結構ある交差点であるが、信号機がない。	信号機を設置してほしい。	優先関係の定まらない交差点であり、児童が集団登校する時間は、比較的交通量が多く危険である。四方に止まれの標識があるが、県道175線の北側の道幅が広くそれ応じて、外側線の位置も外側に広がっている。そのため、外側線の外側によって左折する車両からは、民地の樹木が妨げとなり歩行者が見えにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ・外側線の位置を内側に調整（県道路管理者） ・カーブミラー設置位置の検討（県道路管理者） ・信号機設置判断のため交通量調査の実施（秋田東警察署） ・見守り隊の立ち位置の検討（市教育委員会） ・交通指導員の立ち位置の検討（市交通政策課）
15	河辺小学校	秋田東警察署	河辺高岡地区の岩見川にかかる橋の近くの交差点	交通量が結構あるが、車道を横断するときに見通しが悪い。	横断歩道か道路標識を設置してほしい。	岩見川付近が高くなっており、その後カーブになっているため、見通しは悪い。片側にしか歩道が無く、横断歩道を設置する必要性がかなり低い。この地域の児童はスクールバスとなっており通学事故の可能性はない。近くのバス停付近の見通しは良い。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導（秋田東警察署） ・交通安全教育（市教育委員会）
16	城南中学校	秋田中央警察署	J R 跨線橋の歩道 ※点検後も事故が多いため、再協議するもの。	昨年度は、学校の要望で、跨線橋の学校に近い方のポールを撤去。今年度に、上北手側で、自転車事故5件	歩道を広げ、車道と歩道間にガードレールを設置してほしい。	歩道の幅が狭く、自転車を降りて通行した場合、すれ違う幅が無い。歩道を広げ、車道と歩道間にガードレールを設置することについては、J R 新幹線路上の跨線橋であり、高圧線の移設、夜間工事、設置基準が高い等の理由により莫大な経費がかかるほか、工事期間も長期化するなど課題が多い。そのため、ソフト事業も含めた総合的な策が必要である。過去に自転車を降りて通行することを想定し、ポールを設置したところポールに引っかかり転倒する事故が起きている。その後、ポールを撤去したところさらに事故が増えている。そのため、事故内容を分析し、それに併せ交通安全教育も含めた対策が必要である。	40kmから30kmに速度規制（秋田中央警察署） 事故分析・交通安全教育（市教育委員会） 事故分析に応じた対策・跨線橋架替の検討（市道路維持課）

No.	学校名	所管警察	通学路における危険・要注意箇所	左の理由（状況・内容等）	学校が希望する対策	点検結果概要	対策実施者と対策実施機関
17	港北小学校		土崎相染2区内 跨線橋付近の十字路 ※一昨年、昨年と 点検を実施したが、他に有効な対策が無い か再協議するもの。	道幅が非常に狭い上、 車・自転車の交通量が多い。	通勤・登校時間に、 警察官および見守り隊の配置を お願いしたい。	交通量が多く、横断歩道や信号機を設置 したいところだが、踏切が近すぎて、横 断歩道等と踏切の停止線が重なることや 踏切を通過した車両が、横断歩道で止ま ると大規模な踏切事故につながりかねな いため、設置困難である。 現在も、JR車両が通過する踏切である が、臨海鉄道廃線のニュースにより、踏 切で止まらない車両も見られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊の募集（市教育委員会） ・交通指導員の募集（市交通政策課） ・交通安全教育（市教育委員会） ・交通安全指導（臨港警察署） ・路面カラー化（市道路維持課）